



試験データはどんなものか？

①初期集じん性能

所定のダスト濃度を吸引させて圧力損失が 1000Pa に達したところで、パルスエアーで払落しし、その操作を 30 回繰り返します。
評価ポイント → 初期性能 30 回払落し後の吹き洩れ量 (g)

②エージング処理

ダストを吸引しながら、5 秒間隔のパルスエアーで 5000 回払落しを繰り返します。ろ布を評価するための処理操作になります。

③安定化处理

エージング処理後、所定のダスト濃度を吸引させて圧力損失が 1000Pa に達したところで、パルスエアーで払落しし、その操作を 10 回繰り返します。

ろ布を評価するための処理操作になります。

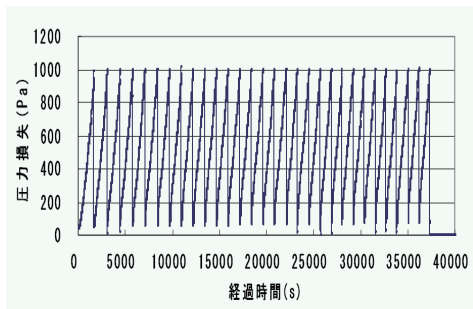
④最終集じん性能

初期集じん性能と同様に、所定のダスト濃度を吸引させて圧力損失が 1000Pa に達したところで、パルスエアーで払落しし、その操作を 30 回繰り返します。

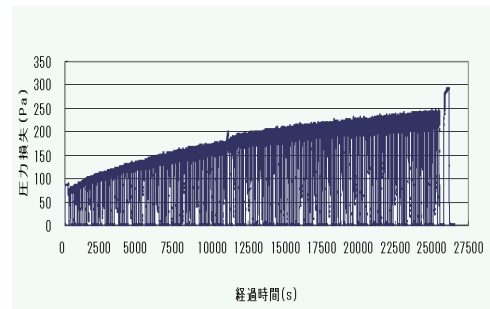
評価ポイント → 最終性能 30 回目の払落し後の圧力損失 (Pa)

最終性能 30 回目のサイクル時間 (min)

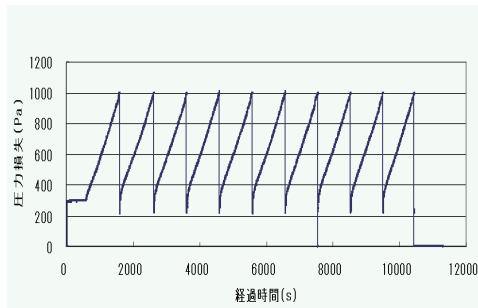
ろ布に付着したダスト量 (g)



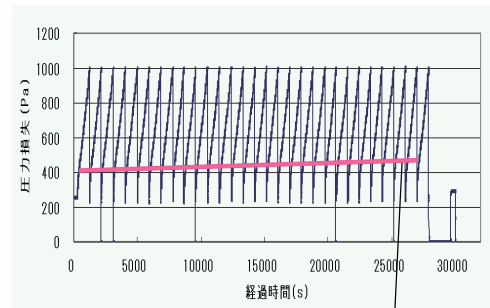
①初期性能のグラフ



②エージング処理のグラフ



③安定化处理のグラフ



④最終性能のグラフ

払落し後の圧力損失上昇ライン

■その他、試験条件の変更が可能か？

JIS ろ布性能試験以外で、試験ダストや性能試験回数等をお客様のご要望に応じて、変更することは可能です。
お気軽にご相談ください。

尚、試験粉体の変更は、定量供給が可能か前段テストが必要となります。